

日 芸 み や ぎ

日本大学芸術学部校友会
宮城江古田会 ニュース

ソプラノ優しく響く はーとふるコンサート

山本和香さん 星久美子さん(音楽 S51 年度卒)

9月15日土曜日、仙台市震災復興記念館記念ホールで女声ヴォーカルグループ「クローバーの会」による『はあとふるコンサート Vol.2』が行われました。4人いるメンバーの中、2人(星久美子さん、山本和香さん)と司会(佐藤 円)が会員です。

前回のVol.1では個性を尊重しながらのチームワークの良さが光り、司会をやらせていただいた私自身も楽しいコンサートでした。今回は2回目。メンバーの身にもさまざまな出来事があり、“表現すること”にそれぞれが向き合っている姿を間近に感じ、司会者としても本番に期待を募らせていました。

宮城江古田会から贈られたステージ上のフラワースタンドに見守られながら、第一部は4人それぞれのソプラノ独唱のステージ。トップバッターは星久美子さん。本居長世作曲の童謡をつなぐように私の詩の朗読が入るという構成で「汽車ぽっぽ」「七つの子」など4曲演



山本和香さん(音楽 S51 年度卒)



星久美子さん(音楽 S51 年度卒)

奏。歌曲でもその存在感を印象付けました。

山本和香さんはゲストのヴァイオリン奏者との共演を交えながら、「からたちの花」「忘れな草」などを鈴が転がるような美声で。

第二部は楽しいアンサンブルのステージ。ソプラノ4人で「花のまわりで」「雪」など、唱歌で日本の四季を表現したり、カルメンをメドレーで演奏したり、女声ならではの優しい響きで魅了。

最後に会場の皆さんと一緒にNHK復興支援ソング「花は咲く」を歌い、まさに心温まる“はあとふる”なひと時となりました。(佐藤 円)



会場と一緒に「花は咲く」を歌うクローバーの会メンバー



司会の佐藤円さん(放送 H4 年度卒)

韓国江古田会訪問記

塚崎隆夫(写真S42年度卒)

2012年4月26日、仙台発アジアナ・ANA共同運航OZ151便A321は、日本海を西に向かい、韓国国内を北上、仙台からわずか2時間30分で快晴の韓国仁川空港に着陸。4本の滑走路からさまざまなマークを付けた国際線・国内線の旅客機が次々と離発着しており、この大きなハブ空港を見るだけでも韓国の活力が感じられる。韓国は昨年(2011年)の東日本大震災発生時、107人の救助隊と2頭の救助犬をいち早く被災地宮城に派遣、捜索活動行った。そのお礼との思いから、4月27日の韓国江古田会総会に参加させていただいた。

総会が行われたギャラリーのある大学路はソウル大学医科大学や50以上の劇場が集まる教育と芸術の街で、若い人たちの熱気が溢れていた。会場では韓国・中国・台湾・日本の写真学科卒業生が出品した「eko国際写真展」が開催され、いずれの作品も味わいの深い力作ばかり、さらなる国々に広がる国際写真展になるのではないかという勢いを感じた。



4 か国の写真学科卒業生の参加した「eko 国際写真展」

総会では、李相允支部長が「学科ごとの同窓会を江古田会としてまとめて2年、8学科の卒業生が仕事でも協力し活気が出てきている」と挨拶。野田学部長が「韓国江古田会は、基礎を築いた先輩の方々をはじめ各世代の方々が素晴らしい活躍している」と祝辞を述べ懇親会となった。二次会には仕事を終えた若い同窓生が加わり、さらに会話が盛り上がっていた。韓国江古田会の会員はFacebookなどで情報を発信し、教育・広告・出版・映画産業・放送・民間企業などで活躍する先輩・後輩が結束していることに感動する。

翌日、仁寺洞の智異山(チリサン)にて、大豆を石臼でひいて作る豆腐を使った韓国料理を頂き、写真学科韓国同窓会の宋会長から、日本を上回る速さで進む韓国の少子高齢化、高い進学熱と厳しい受験競争の話などを伺う。



若さと活気あふれる韓国江古田会の会員と共に

李支部長が代表を務める会社を訪ね、映像編集の様子や李さんが撮影したすばらしい「韓国国宝仏像写真集」を拝見、日本の仏像のルーツを見た思いがした。韓国国内の国宝仏像をすべて撮影した李相允さんに敬服。

日本と韓国に住まいを持つ私の高校時代写真部先輩 K さんと一緒に焼肉店に行く。仕事帰りの若者グループや老夫婦などで賑わっている。キムチやニンニクお代わり自由で、“パワーの源”本場のカルビとビビンバを味わう。漢江の南にある水産市場もお勧めだ。900軒！の鮮魚店の水槽が連なり、泳いでいるタイやカニ、アワビなどを買い、2階に並ぶ食堂で調理してもらえる。親子一族などが鍋を囲んで食べている。どこに行っても実に活気に溢れている。観光は故宮(古宮)めぐり。ソウル市内には、500年続いた李王朝時代政庁の景福宮(キョンボックン)など世界遺産があり、三つの故宮と国立民族博物館を訪れた。故宮は韓国の“パワースポット”、歴史と文化を知り、心と身体が癒され運氣養う旅になった。



景福宮 王宮守門将交代儀式

仙台空港と仁川空港とは5月から再び週7便に増え、韓国と仙台・東北の絆はさらに深まるでしょう。李支部長、韓国江古田会の皆様お世話様でした。

(塚崎)

岩手江古田会に参加

10月13日、盛岡駅前ぴょんぴょん舎、佐藤剛さん(演劇S52年度卒)の流れるような名司会で岩手江古田会第8回総会が始まりました。

國分会長(映画S40年度卒)の台湾江古田会総会の参加の報告に続き、綾部校友会会長から「全国の支部で一番女性の参加が多く華やかな活動している岩手江古田会はすばらしい」と祝辞があり、総会議事がスムーズに進められました。懇親会では原芸術学部次長から、入学事情など学部の近況報告。そして参加者全員スピーチ。女性会員のさまざまな分野での活躍が印象的でした。

今回は宮城江古田会から塚崎(写真S42年度卒)、青木副会長(映画S45年度卒)、星幹事(音楽S51年度卒)の3名が参加。青木さん、星さんは祖母や父親の実家が盛岡市内にあり、準会員待遇です。

星さんには「花は咲く」のリクエストがあり、「♪ 誰かの

笑顔が見える、悲しみの向こう側に、花は、花は、花は咲く…」岩手・宮城・福島の沿岸部で亡くなった方2万人とその家族の方々に思いを寄せ歌っていました。



「花は咲く」を歌う星久美子さん

東北ブロックは各県の江古田会(芸術学部校友会各県支部)が、山形、宮城、岩手に続いて秋田、青森、福島と、6県全部に江古田会が設立され、2008年に開催したアートフェスティバル・東北には、各支部から写真や絵

画、彫刻の出展、ステージでの司会、演奏、トークなどに出演していただきました。昨年、台湾江古田会に学部長、校友会長のほか岩手、宮城、熊本の各支部からも参加して、大いに盛り上がったことから、國分会長と東北ブロック内でも会員の相互交流を図ろうと話し合い、今回それが実現でき嬉しく思っております。次回は宮城でお会いしましょう。(塚崎)

会員の活躍

仙台ろけなびで活躍中 桑島美奈さん(放送H22年度卒)

お店の方々から商品のこだわりや復興にかける思いなどをじかに

平成24年6月から「元気情報発信！東北ろっけんパーク」(毎週木曜日16時～DateFM(77.1MHz))という番組を担当することになり、ラジオでお話しさせていただきました。クリスマスロード商店街にある「東北ろっけんパーク」で毎週末開催されているお店や商品を紹介する番組です。…(8月いっぱい終了)ラジオ出演するにあたり、



これが私、桑島美奈です

聴くことができた事は、大変よい経験になりました。現在は「仙台なびっく」と「東北ろっけんパーク」合同で運営しているインターネットテレビ局「仙台ろけなびtv」(<http://www.sendai-rokenavi.nitn.tv/>)で取材・編集をしています。この「仙台ろけなびtv」は仙台市中心部のお店をご紹介したり、仙台の観光スポットを周る「るーぷる仙台」に乗車し、各バス停周辺のスポットを紹介する番組です。おもしろいお店や情報をご存じの方は是非tv@sendai-navic.comまでご連絡いただければ幸いです。(桑島)

「にじいろクレヨンが描いた軌跡」柴田滋紀さん(美術H11年度卒)

自ら被災し避難所で会ったこどもたちの心のケアをとの思いから、にじいろクレヨンの前身となる子供避難所くらぶを震災の10日後に開いた。紙飛行機、折り紙、クレヨンでお絵かき、保育士さんの協力でこどもたちに笑顔が戻ると、避難所の大人も和む。学友の支援、全国からのボランティアも加わり仮設住宅など20か

所余りで活動するまでに至る活動の全記録。

発行 プイツーソリューション
発売 星雲社 価格 1,500円
書店・オンラインストア発売中
<http://niji-ro-kureyon.jp/>



仙台短編映画祭 日芸卒業生健闘

9月15日から17日までの3日間、仙台市青葉区のメディアテークで『仙台短編映画祭2012』が開かれました。このプロジェクトは、仙台で上映されていない若手の映画作家の作品を上映するのが目的で1996年から開かれています。

今回の映画祭には、41名の若手映像作家の作品42作品が上映されました。3分11秒の制約の中でそれぞれが東日本大震災当日3月11日以降の自身と対峙し、葛藤を生み出した作品をオム



©仙台短編映画祭実行委員会

ニバス形式で綴ったものです。

今回の映画祭では、日大芸術学部卒業生の
遠竹真寛さん『春江』 仙台生れの映画卒
守屋文雄さん『ダーンポンビヤ』 宮城生れの映画卒
阿部理沙さん『ひとりの父』 映画卒
朴 美和さん『ちょうちょ』 映画卒
日向朝子さん『一枚の履歴書』 映画卒
堀江慶さん『3・12』 映画卒の
短編6作品が上映されました。

このほか、日大芸術学部映画学科で知り合った
沖田 修一さん、守屋文雄さん(宮城生)の作品『青
梅街道精進旅行』58分など3本が上映され好評を博し
ました。

<http://www.shortpiece.com/>

(青木)

加藤順子さん チャリティーコンサート

日本を代表するカンツォーネ歌手加藤順子さん(映画H6年度卒)が、9月21日仙台市戦災復興記念館ホールでチャリティーコンサートを開きました。アルディラやボラーレ、映画音楽ゴッドファザーなど、マイクを使わないカトリーナの力強いカンツォーネがホールに響くと、イタリアの青空、降り注ぐ太陽、輝く海、爽やかな風が吹き渡り、地中海の景色がステージに広がります。「加藤順子と行くイタリア旅行」での楽しい話も交



コンサート終えた後、加藤順子さんを囲んで

え、陽気な気分と元気をいただきました。上記写真のほか芸術学部の多くの卒業生の方々も聞いておられました。加藤さんはチケット・CD売上の一部をあしなが基金に寄付されたとのことでした。

平成24年度 日本大学校友会宮城県支部総会

日本大学校友会宮城県支部総会が7月25日、ホテルメトロポリタン仙台で開催されました。はじめに牧村正春日本大学副総長(松戸歯学部長)から、平成31年に創立130周年を迎える記念事業の環境整備として、新日大病院建設、新学部開設、小学校開校、学生寮などの整備、奨学金・アスリート支援制度の充実することなどが

報告されました。また昨年、日本大学提携校になった南光学園東北高校から、今年の大学入試合格者380名のうち日大合格者は東北学院大に次いで2番目の47名だったことが報告されました。これまでの指定校推薦に加え提携校となり、大幅に日大進学者が増えたとのことでした。(塚崎)

【編集後記】

12/7、M7.4の地震時、電車内で携帯電話が一斉に「ギャッギャッ」、地震速報・津波警報続けて入り、ワンセグTVは避難呼びかけの音が、車内に45分缶詰で避難どころではない。途中から揺れが強くなり別の震源の地震が同時発生した。40～50年は様々な想定外の災害に備えなければならない。当江古田会は昨年と今年、台湾・韓国・岩手の江古田会に参加、日芸卒業生も来仙し活発に活動している。想

定外の活動の広がりは大歓迎。H25年1/23には宮城江古田会の新年会を開催します。料理も美味しいワインバー貸切。総会に出ていない方も酒飲みにござらいん！(T)

発行責任者 塚崎隆夫

事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町12-21 (有)アズシステム
桑折洋一 Mail: koori@az-sys.co.jp